

今回の「教えてふるたにさん！」は拡大版です。まずは裏表紙からご覧いただき、このページをご覧ください。

オープンなまちへ 教えてふるたにさん！ 第11弾 拡大版

→裏表紙からの続き

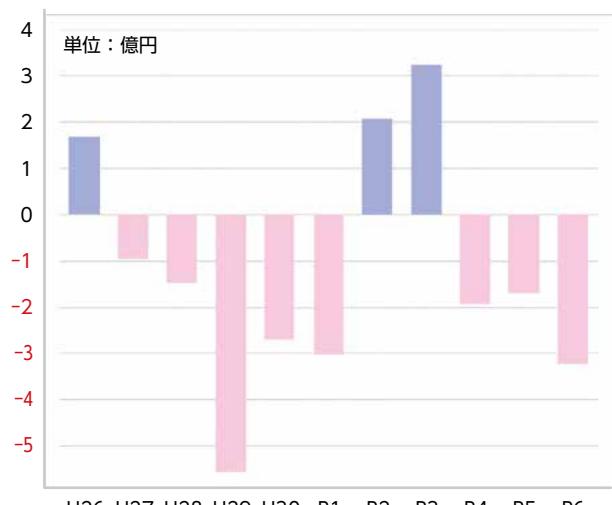
砥部町は厳しい財政状況に置かれている、とお伝えしました。拡大版として、砥部町の財政状況について詳しく解説します。①実質単年度収支、②基金（＝貯金）のデータからお伝えします。

まず、①実質単年度収支という言葉、あまり聞きなじみがありませんよね。生成AIに解説してもらうと「貯金の切り崩しや積み立てなどの影響を除いた、その年だけの純粋な黒字・赤字」と定義します。これでもいまひとつ、わかりづらいですね。言い換えると「その年の収入だけで、その年度の支出をまかなえたか、まかなえていないかを示す収支」と定義することができます。

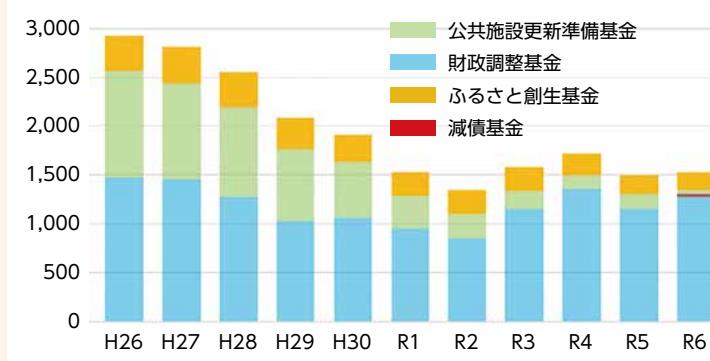
つまり、実質単年度収支が黒字だと貯金の積み立てができる、赤字だと貯金を切り崩す必要がある、ということになります。

図①は、砥部町の過去11年間の実質単年度収支を示しています。11年間のうち、8年間が赤字です。このデータから貯金の切り崩しが常態化していると読み取れます。ちなみに、令和2年度、3年度の実質単年度収支は黒字となっていますが、この期間はコロナ禍と一致しています。イベント等の事業の縮小、国からの交付金等があったため結果的に黒字となりましたが、その後は赤字が続いており、財政構造の転換につながることはありませんでした。

図① 平成26年度～令和6年度の実質単年度収支



単位：百万円 図② 平成26年度～令和6年度 主要基金総額の推移



年のうちに砥部町の中心的な基金である財政調整基金（ご家庭でいうところの普通預金）が枯渇する可能性があります。財政調整基金の枯渇は、皆さんに提供している行政サービスの縮小につながります。また、今後必要となる学校や保育施設をはじめとする公共施設の更新や下水道施設等の改修への対応が困難になります。

厳しい財政状況とは「実質単年度収支の赤字体质による基金の減少と財政調整基金の枯渇の可能性」であるというのが本町の見解です。

このような状況を防ぐために、財政構造の転換を図っていく必要があると考えています。まずは支出の見直しから始まり、裏表紙でもお伝えした公共施設の再編、そして収入の増加のための企業誘致やふるさと納税施策の充実が必要です。これからも必死に頑張ります。町政に一層のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

そしてもう一つのデータが②基金です。基金は、自治体の貯金です。図②は過去11年間の主要基金総額の推移を示しています。実質単年度収支の赤字が続き、基金の切り崩しが進んでおり、過去11年間で最も少ない水準にまで陥っています。原因として、人件費や福祉関連費、建設費の高騰や事業の増加、公共施設の更新費用の増大などが考えられます。

もし、今後、支出の削減や収入の増加が図られず、実質単年度収支の赤字が続いたらしく、数



オープンなまちへ

教えてふるたにさん！

第11弾
拡大版

こんにちは！砥部町長の古谷崇洋です。
今回は町民の皆さんにお伝えしたいことがあります。



砥部町は現在とても厳しい財政状況に置かれています。私が就任して以降、事業の見直しや歳出の縮減を行ってきましたが、当初予算の編成段階で2億円を超える歳入不足が見込まれ、貯金の切り崩しをせざるを得ない状況です。(財政状況についてはP23で解説します。)

その中で、増大する公共施設の維持管理費の抑制を目的に、固有の状況を踏まえながら、今後の在り方について検討してきました。その結果、広田地域にある町営診療所(国保診療所)と坂村真民記念館の廃止、陶芸創作館の砥部焼伝統産業会館への統合を決定しました。

国保診療所は、勤務医の定年が令和10年3月末に迫っている中、全国的な医師不足による後継医師の確保が困難であるという現状がありました。また、年間の受診者が延べ1000人(1日平均3.8人)を割り込むとともに、施設の老朽化による更新時期が迫っているため、財政的観点から持続的な経営は難しいと判断しました。これか

らはオンライン診療と、送迎支援を含む交通施策の充実を図り、新しい医療提供体制への転換により、広田地域の皆さんの受診機会を守っていきたいと考えています。

坂村真民記念館の現状は11月号の本コーナーでもお伝えしましたが、入館者の低迷が顕著であり、赤字運営が続いている。経費縮減はこれまで大幅に行い、また売上確保策も検討しましたが、抜本的な改善に至らないと判断し、令和8年度内の閉館を決断しました。名譽町民である坂村真民氏については引き続き、ソフト面での顕彰を行いながら、旧記念館については、砥部焼250周年事業や国民文化祭等で文化発信拠点として活用していきます。

陶芸創作館は、砥部焼伝統産業会館と統合します。砥部焼伝統産業会館の2階スペースに陶芸創作館を移設することで砥部焼の発信拠点としての機能強化と魅力向上を図ります。町民の皆さんにご迷惑をおかけすることを心からお詫びいたします。砥部町の未来のために皆さんのご理解をいただけますと幸いです。 P23へつづく ➔

古谷崇洋
Instagramは
こちら
@FURUTANI_TAKAで検索



砥部町公式LINE友だち募集中



砥部町の情報だけでなく周辺地域のイベントなども配信しています。もちろん防災情報もLINEでお知らせします。ぜひ、砥部町公式LINEをご登録ください。

友だち追加方法

- IDで検索「@tobe」
- 2次元コードを読み取る
- 利用者設定のお知らせ受信設定を選択

広告



人の動き

	1月1日現在	前月比
人口	19,974人	+4人
男	9,466人	-4人
女	10,508人	+8人
世帯	9,595世帯	+10世帯
0~14歳	2,190人	-2人
15~59歳	9,441人	+5人
60~64歳	1,240人	+9人
65歳以上	7,103人	-8人